

六月に入りました。今年の高校受験は、六月十日から始まります。この高校受験のために毎年中学三年生の生徒たちは、学校近くで合同合宿します。今年、生徒たちが寝泊まりする場所は、普段、幼稚園児が勉強する離れにある教室です。ドアが無く、ヤギや犬、ニワトリが自由に出入りできる教室です。夜になれば蚊の心配がドアのある家よりもさらにしなければならぬ教室が合宿場所となりました。学校内にある場所が合宿場所ということだからだったのか……”と思う出来事がありました。六月最初のそろばん教室の事、離れのある穴トイレと私が名付けたコンクリートに穴が開いただけのトイレに行って戻った時に、ダバスに誘われて通い始めた同じ学年の女子生徒デライトのそばに、ひげ面の男がいました。デライトが「マシコ、新人よ。」と言うので学年を聞くと「中三」とデライトが答え、そのひげ面の男は薄ら笑いを浮かべるだけだったので、その薄ら笑いに腹がたつてしまい「中三の生徒は受験が終わると来なくなるから、ダメ。出て行って。」と語尾を強く言うように続けて来る。「とひげ面男は薄ら笑いをしてながら答えました。その様子を教室の外から数人の生徒が見ていたのです。この時は、補習授業がなくても自主学習で学校に来て勉強する生徒がいるので、そうした生徒たちが来ているのだらうと思っていました。この生徒の数人に「マシコ、今日はダバスは病気だから来ないわよ。」と教えてくれたので、わざわざ自主学習に来ている生徒が教えてくれるなんて有難いなと思ったのです。そのひげ面男は、結局追い出さかたちで出ていかせたのですが、気持ちの良いものではなかったことが印象に残った日でもありました。この時からすでに合宿は行われていたのです。校舎が合宿所と教えてくれたのはダバスでした。ダバスも合宿していたのです。そのダバスは、翌日から高校受験という日、一か月ぶりに登室してきました。

一か月前、ダバスが65回の皆勤賞を受賞した時に、ダバスに告げたことがありました。あと少しで、マイそろばん。頑張ってくるように。」と。うれしそうに「はい。」と応えたダバス。5月に休むことなく通えば5月中に絶対にマイそろばんと見通して、ダバスに伝えたのでした。ところが5月はダバスは来ることが無く、一か月ぶりに来た日が今学期最後のそろばん教室の日でした。ダバスに受験後、高校に入るまで村に留まるかと聞いたら「はい。」と返事。ダバスにマイそろばんを贈りたい。あと少しで練習プリントが終わるんだからもう贈ってしまおうか……これまでもダバス以外にも考えることが何回かありました。しかし、この方針だけは変えたくない。目標を持って続けてほしい。その揺るぎない想いとダバスがマイそろばんを手にすることを願い、今の私はダバスが夢、私が頑張る理由がここにあると改めて思った日でした。

報告 TOSHIKO



協賛

トモエそろばん様